

板橋区立
熱帯環境植物館
9/12(土)～10/12(月)

開 館 1 5 周 年 記 念

マレーシア展

J A P A N

M A L A Y S I A

|S|V|P|2|

SPREAD
VIDEOART
PROJECT2

日 本 ・ マレーシアビデオ交流展

VideoArtExchange

板橋区立熱帯環境植物館
開館15周年記念

マレーシア展

SVP2 企画上映展

日本・マレーシア ビデオ交流展

9月12日(土)～10月12日(月)

「日本・マレーシアビデオ交流展」は映像作家グループ「SVP2」が、ビデオアート交流事業として企画し、板橋区熱帯環境植物館の協力により、「開館15周年記念 マレーシア展」の上映プログラムとして実現しました。

この上映プログラムではマレーシア作家によって制作されたさまざまな映像作品を紹介し、日本初公開作品がほとんどです。これらの映像を見ることでマレーシア文化に触れるきっかけとなることを願っています。

また、期間中には、熱帯植物を題材にしたデザインワークショップや、アニメーション体験、マレーシア作家による講演も開催します。

日本・マレーシアビデオ交流事業 2009 日本展 イベント一覧

板橋熱帯環境植物館 開館15周年記念
「マレーシア展」

9月12日(土)～10月12日(月)
板橋区立熱帯環境植物館

「無礼講 2009 マレーシアスペシャル」 in 東京

10月2日(金)～10月3日(土)
六本木ストライプスペース

「無礼講 2009 マレーシアスペシャル」 in 福岡

第4回福岡アジア美術トリエンナーレ 2009
コラボレーション企画

10月8日(木)～10月10日(土)
福岡アジア美術館ホール

教育プログラム

長野県高等学校視覚教育研究大会ワークショップ

9月26日(土)～9月27日(日)

日本工学院専門学校ワークショップ

9月28日(月)～10月1日(木)

日本大学レクチャー

10月2日(金)

九州産業大学レクチャー

10月7日(水)

日本・マレーシアビデオ交流事業事務局 SVP2

スプレッドビデオアートプロジェクト2

<http://svp2.com/>

交流事業詳細については SVP2 のホームページでご確認ください。

会場案内

板橋区立熱帯環境植物館 <http://www.itanetu.com/>

〒175-0082 東京都板橋区高島平 8-29-2 TEL: 03-5920-1131

休館日
毎週月曜日
国民の祝日・休日の場合は
直後の平日

開館時間
am 10:00 ~ pm 6:00
(入館は pm5:30 まで)

入館料
大人 220 円 65 歳以上 110 円
小中学生 110 円 未就学児 無料
毎週土・日曜日は小中学生入館無料

MAP



マレーシアを楽しむアート制作講座と特別講義

9/12 (土)
11:00 ~ 17:00
(10 時より受け付け)

ワークショップ1- マレーシア風カード作り -
「熱帯植物でデザインを楽しもう」

1日3回、11:00～12:00、13:00～14:00、15:30～16:30で開催します。定員20名。指導：やなぎだ晶子(イラストレーター・デザイナー) 熱帯植物をモチーフに、イスラム文化独自の模様をデザインします。準備したパターンを組み合わせ、オリジナルデザインのカードを作ります。



9/13 (日)
11:00 ~ 17:00
(10 時より受け付け)

ワークショップ2- 驚き盤でアニメを作ろう -
「熱帯植物でアニメーションを作ろう」

1日2回、11:00～13:00と14:00～17:00で開催します。定員20名。指導：佐藤博昭(日本大学芸術学部講師)、田中慶太郎(ビデオ作家) 驚き盤は円盤状の厚紙に12コマの絵を描き、その絵がアニメーションのように動いて見える玩具です。アニメーションの仕組みを学びながら、用意した見本を参考に作成します。

10/3 (土)
12:00 ~ 15:30

特別プログラム- 上映と講演 -
「マレーシア文化・映像を語る」

12:00～14:00 A-Part1とBプログラム(下記上映プログラム参照)上映。
14:00～15:30 講演。
講師：佐藤博昭(日本大学芸術学部講師)、ナジブ・ラザク(ドキュメンタリー映像作家*予定)



マレーシアを映像で体験する！上映プログラム

9/20(日)、9/26(土)、10/4(日)、10/11(日)、12:00～17:00

解説：佐藤博昭(日本大学芸術学部講師)ほか。下記のプログラムを順次上映します。
また、プログラムの始めに「日本・マレーシアビデオ交流展」実行委員会のメンバーによる作品解説を行います。

A プログラム

自然に触れる
(part1 60分+ Part2 60分)

A プログラムはマレーシアの自然を捉えたドキュメンタリー作品です。制作はノビスタ(Novista)というドキュメンタリーのスペシャリスト集団です。ノビスタは1991年にハルム・ラフマン(Harun Rahman)によってクアラランブールに設立されました。ラフマンはアメリカで15年のキャリアを積み、チームのメンバーはディレクター、カメラマン、ジャーナリスト、といったドキュメンタリーのプロ集団です。ノビスタでの活動は、自然・文化の歴史、文化遺産、人びとの暮らし、動植物の生態を中心にドキュメンタリー作品を制作し続けています。

Director: Harun Rahman
Production Company: Novista

Part1 (60分)

『KRAU WILDLIFE RESERVE: A Centre for Biodiversity』多様な生態の中心地 25分

『TASEK BERA: Malaysia's Mystical Wetlands』マレーシア: 神秘的の湿地帯 25分

Part2 (60分)
『TAMAN NEGARA PULAU PINANG: A Beacon Of Hope』希望の光 25分

『TEMENGOR: Biodiversity In The Face Of Danger』危機に直面する多様な生態系 28分

B プログラム

歴史と文化に触れる
(55分)

B プログラムは歴史と人びとの暮らしを捉えた3作品です。ナジブ・ラザクの短編は山形国際ドキュメンタリー映画祭でも上映されました。地域の漁民と人びとの暮らしを見つめた秀作です。『Rainy Days』は、かつて世界一を誇ったマレーシアのゴム園の様子を再現しています。イギリス支配下にあったゴム園の労働者の多くはインド系の移民でした。雨が降ると仕事ができず、彼らの生活はいつも厳しくなっています。『Bo Lang Chai』は中国からの移民が、マレーシアに根付いていく過程を当時の資料で辿り、人形劇で再現します。これらの作品からマレーシアの複雑な歴史を垣間見ることが出来ます。

『人魚島の子ども』Naguib Razak

1999年 10分

『Rainy Days』Rajen Paramesran

2006年 13分

『Bo Lang Chai』Ong Boon Keong

2007年 35分



C プログラム

映像表現に触れる
(50分)

C プログラムは、新しい表現に挑む作家たちの短編集です。ソウ・ウィー(Au Sow yee)の『PASSING II』は静止画を三面で構成し、街の流れるようなスピード感を表現しています。また、マスヌールの『Garlic Red Onion』はマレーシアの多様な文化を、料理の素材を使って表現しています。マレーシアの個人ビデオ作品は1990年代にスタートした新しい表現です。アジア・アートの力強さを感じていただけます。

『PASSING II』Au Sow Yee

6分

『KAMI』Nazim Esa

2007年 9分

『puthiya vanam puthiya bumi』

Roopesh Sitharan

2005年 5分

『IN THE TANK』KokSiew-wai

3分

『Garlic Red Onion』

Masnoor Ramli Mahmud

2006年 5分30秒

『seRANGga』

Nurhanim Khairuddin

2005年 5分

『proclaim』Hasnul J Saidon

1995年 10分

日本・マレーシアビデオ交流事業
主催：SVP2(スプレッドビデオアートプロジェクト)

助成：国際交流基金、板橋区、福岡市
共催団体：板橋熱帯環境植物館、福岡アジア美術館
六本木ストライプスペース

協力：NPO法人・市民がつくるTVF、
日本工学院専門学校、
九州産業大学、九州大学、日本大学